

発行所（郵便番号100）

東京都千代田区丸の内2-4-1  
丸の内ビルディング781号室  
社団法人スウェーデン社会研究所  
Tel (212) 4007-1447

編集 中嶋 博  
責任者

印刷所 関東図書株式会社  
定価200円（年間購読料参千円）

1986年4月25日発行

第18巻 第4号

（毎月1回25日発行）

昭和44年12月23日第3種郵便物認可

# スウェーデン社会研究月報

Bulletin Vol. 18 No. 4

Japanska Institutet För Svensk Samhällsforskning  
(The Japanese Institute for Social Studies on Sweden)  
Marunouchi-Bldg., No. 781. Marunouchi, Chiyoda-ku, Tokyo, Japan

## パルメ首相を悼む

Lamentable Death of Our Friend Olof Palme

理事 明治大学教授 岡野 加穂留

Director, Prof. Kaoru Okano



国の内外の政治的リーダーと交流を持つ愚生にとって、スウェーデンのパルメ首相ぐらい魅力ある人物はなかった。

パルメは、公私の生活の中で、“Plain Living & High Thinking!”（生活は質素に、思想は高潔に！）

を身を持って実践した現代政治家であった。

1976年9月の総選挙で、若干の議席後退を契機に、彼が率いる社会民主労働党政権が44年ぶりに下野した時、こんなことを言った。

「久しぶりの野党だ。この機会を利用して、党の政策・綱領の見直しと再検討をしたい。更に、全選挙区の党組織の末端に至るまでオーバー・ホールをしますよ。1982年9月の総選挙に、再び政権につき、西暦2000年まで頑張るんだ」。しかし、彼は死んだ。

1981年9月中旬。ノーベル賞授賞式の会場になるストックホルムの音楽堂で会議があった時。パルメはシンボルの真紅のバラをあしらった“スウェーデンのための未来、”と刻印されたバッジをくれた。出席者は、胸にこれをつけた。ノーベル平和賞の西独のブラント元首相、フィンランドのソルサ首相、ノーベル経済学賞のグンナー・ミュルダール先生、平和賞のアルバ・ミュルダール夫人。それにバルト三国から亡命している政治家たち。そして第三世界の政治的リーダーも、バラのバッジを胸につけていた。

彼くらい世界の政治家の中で、本音で核戦争の恐怖とその人類を絶滅する危険性を身をもって主唱した人はあるまい。ピューリタンの“伝道師、”のごとく、この点、ノーベル平和賞を受けたクエーカーの団体であるアメリカ・フレンド・サービス委員会（A・F・S・C）の平和主義にも通じるものがあつた。

パルメは、ソシアリスト・インターの副議長として、ブラント議長・ソルサ副議長・クライスキー前オーストリア首相らの外国のリーダーたちと、国内ではミュルダール夫妻、北欧諸国のトップ・リーダー、後輩であるカールソン新首相らと常に相談し、北欧非核地帯設置実現という主要課題を打ち出した。この考え方が国際政治の現実の中で、両大国の核競争の横暴を押えるチーム・プレーの中核になるよう努力したのであつた。

パルメの死は、世界平和の巨大な財産を失つたのに等しい。3月2日、愚生はNHK国際放送でスウェーデンに向け、友人パルメの業績をたたえ、哀悼の意を表しておいた。

### 目次

パルメ首相を悼む……………	岡野加穂留… 1
パルメの悲劇……………	原 剛… 2
(Göteborg通信) 家計の問題……………	三瓶 恵子… 4
S I Pニュース……………	5

# パルメの悲劇

Tragedy of Palme

毎日新聞編集委員 原

剛

Mr. Takeshi Hara

越智大使邸を辞して午前零時半、家に帰り着き、ドアを開けたとたんに電話が鳴る。

「パルメが撃たれたぞ！」騒然となっている東京編集局の様子が受話器の向こうから伝わってくる。

「まさか。間違いだろう」

「本当らしい。APもロイターも一報を流している」

「どこで？ ニューヨークでか？」

「ストックホルムだ」

「ウソつけ」

ふるえがきたのは寒さのせいだけではない。仰天し、警察へ電話をした。一日午前零時六分死亡を確認し、現場へ素っ飛びごことになった。

白熱ランプが雪に暖かく映える街路はカンカンに凍てついて人影もない。

スウェーデン全土もちまわりの冬の「スポーツ休暇週」の、たまたま2月最後の週がストックホルム・カウンティの番に当たっていて、さらに休暇あけの週と重なったので繁華街もガランとしている。

スベアペーゲン大通り42番地。地下鉄Hötorget駅へ下る階段まで、6メートルほどの、角の文房具店前の歩道に、畳半分ほどもある血溜りが雪を染めている。

スウェーデン留学を機に新しく買い求めたカメラの最初のショットがパルメ首相の血であるとは。「なんてこった、このマトハズレ野郎が」暗殺者への怒りがこみあげてくる。

通りの向こう側に、いましがたパルメ首相とリスベット夫人が並んで出てきた映画館「グランド」の灯が見える。映画館の隣りは家具屋で、大きなショウウィンドウにロッキングチェアや藤色のダブルベッドが陳列してある。暗殺者はそのショウウィンドウをのぞいているふりをしてパルメ首相夫妻を待ち伏せし、現場まで200メートルほど後を

つけてきたのだ。拳銃はスミス・ウェッソン、レボルバー、弾丸は車の鋼板程度なら楽に撃ち抜くウインチェスター357型マグナム。凶弾はパルメ首相の背骨を砕き、心臓の真近かの大動脈を断ち、気管を破り、胸骨を貫いた。心臓はせいぜい二打ちして停止したと思われる。リスベット夫人を狙った二発目は、崩折れる夫をかばおうと、素早く身を半回転させた夫人のコートの背をかすめ服を焼いた。その特長ある顔を夫人に何度も目撃されている犯人は、証言を恐れてリスベット夫人の生命をも奪おうとしたのであろう。

現場からヨハネス教会へ通じるタンネル通りへ逃げこんだ犯人は、31段、19段、17段、21段とそれぞれつづく石段をいっ気にかけて上がり、待ち受けていた共犯者の運転するフォルクスワーゲン・パサットに飛び乗り姿を消した。この横丁の階段は狭いところでは幅1メートル、レストランやバーの多いところなので、ふだんこの時間は、いっぱい機嫌の若者たちが群れ、暗殺者にとっては、容易に行く先を阻まれるおそれのある危険な逃走路である。残る三発の弾丸をたよりに死にものぐるいで突破口をひらくつもりだったのであろう。

酷薄で絶望的な表情の犯人像を思わざるをえない。事件当夜の星空がうそのように、翌々日から雲の低くたれこめ霧と雪が交互に舞う暗い空に変わった。

春とは名のみのストックホルムの、いったいどこに、こんな花があったのか、いぶかしく思えるほど、さまざまな花がパルメ首相の血痕の上にならず高く積みあげられていった。

窓辺の鉢からひき抜いてきたのであろう。球根をつけたままの黄色い水仙の花が赤バラの中で鮮かである。バラはスペイン、フランスからのものだが、紫色のヒヤシンスは水栽培であろう。暗く長い冬に耐えて、やっとなつボミをつけたところだったにちがいない。もの静かで感情を厳しく押さえるスウェーデンの人々が悲しみと憤りとを花に

たくし、誰もが花の上に一輪の花を重ね、唇をかみしめて立ち去っていく。

パルメよ、あなたは風だ

決してゴールをあきらめない風

なぜ、あなたは殺されたのか

平和の使徒、あなたは、

永久に生き続ける

ありがとう パルメ

Kristina Lindström

Carina Nordgren

哀悼の詩を記したカードの白さが目にしみる。

パルメ、あなたは第三世界の暗闘にともる灯だった。あなたは、今も我々の胸に生きている——イラン人より

イスラム文字で記されたカードがバラの花束に結ばれてある。くちばしにオリーブの枝をくわえ、南米大陸の上を飛ぶハトの目から涙がこぼれている絵もある。「チリー人から」とサインしてある。パルメが率いてきた、スウェーデン社会民主党のシンボル、赤いバラの花を、赤ん坊の眠る乳母車からとり出す母親、ふるえる手にしっかり赤バラを握りしめ体を支えあいながら行く老夫婦など、あらゆる姿の人々の悲しみと憤りの表情がスベアペーゲン大通りに昼となく夜となく波を打って続く。社会主義者として神を信ずる心の薄かったといわれるパルメであるが、住んでいた中世の街、ガムラスタンの彼の教区のストーリー教会では死の翌日、超満員の祈る人々を集めてパルメ鎮魂のミサが行われた。牧師は「スウェーデンにいま、氷のような風が吹き荒れている。理解できない事が、起こった」と、叫んだ。抗議と鎮魂のデモは全土に拡がり、ヨーテボリで、マルモで5万、6万と空前の人波がタイマツの灯をかざし雪の舞う夕べの街路を行進した。ストックホルムの中心街、Tセントラーレンの広場、セルゲルストーリーでは連日抗議の大集会が続く。「パルメは神に祭りあげられようとしている。このすさまじい人々の反応ぶりは、政治的宗教の感情のきざしの始まりというほかはない」。知人の社会学者はその政策にも、また反対者を完膚なきまでにやっつける性格に対しても「コントロールシアル」（論争好きな）という意味あいの批判が強かったパルメの死にスウェーデンの人々が示した強烈な反応を分析する。

ともあれパルメは、ことあれば軍事力にものを言わせようとする「大国の時代」の野望に抗議する人々の気持ちを、世界一の高い福祉水準を譲らず、80カ国から政治亡命者や移民を暖かくむかえ入れることによって、批判的に表現することができた、数少ない政治家の一人であったのであろう。いわば時代の共感をその身にひき寄せ得たパルメのカリスマ性が、突然の死を悼み、歎く大衆の巨大な渦となって、その死後にもなお鮮かに表現された、といえまいか。

日中の気温が氷点下を脱したとはいえメーラレン湖を閉ざす氷はなお厚い。湖畔にそびえる迎賓館（市庁舎）の「青の間」で3月15日行われたパルメの葬儀は深い悲劇を感じさせ、見守る人々の心を揺さぶった。時間と空間を越え、世界のあらゆる建築様式を一つにまとめたこのスターツヒューセット（Stadshuset）は、20世紀初頭の建築史に輝く傑作といわれている。「青の間」は世界のあらゆる人々を歓迎するためにつくられた、この建築物の思想を象徴する大ホールがある。高い天井の、さらにその頂きをぬいて、南ヨーロッパの光り輝く青空を呼びこもうとした設計者は、しかし、そうするには及ばぬ、素晴らしい出来ばえにうたれて、結局スペイン風の中庭式様式を中途でおしとどめた。「青の間」は北欧人の精神が憧れてやまない、無窮の青空、光を表現するものである。そこには北欧が東洋やアフリカ、新大陸やイスラム世界の人々と出会い、客人を歓待するために作られた宴の間であった。

われわれは友情の手を差しのべる、  
連帯の輪を世界に広げるために……

282人の子供たちの美しい合唱が流れる中で120カ国・1700人の客人たちは深く頭をたれた。世界が一堂に会する。パルメが、スウェーデンの理想が夢みた瞬間であろう。しかし、国際社会を湧かせた、稀代のエンターティナー、オーロフ・パルメは、客人を迎えるために主人が降りて来るはずの階段に、無言で白い棺に横たわっていた。

# 家計の問題

会 員 三 瓶 恵 子

Ms. Keiko Kjellsson-Sampe

魔の税金申告〆切日（今年は2月17日）に相前後して家計についての報道がいくつかあったので、今回はそのことについて書いてみたいと思います。

一つめは、テレビのニュース番組アクテュエルト Aktuell (日本でいえばNHKの9時のニュース)が統計局 Statistiska centralbyrå に依頼した調査の結果、430万世帯のうち70万世帯が社会局 Socialstyrelsen が定めた“最低限度の生活水準” Existensminimum に達していないのに加えて、さらに70万世帯が最低生活水準のぎりぎりの線上にあることがわかったことです。割合にすればスウェーデンの世帯の三分の一が“貧困世帯”であるということになります。この“貧困世帯”の多くは一人暮らし世帯か又は子どもが三人以上ある世帯で、これらの二つのグループは、その47%、すなわち約半数が最低限度の生活水準以下の生活をしているのだそうです。テレビ番組アクテュエルトでのインタビューのフェルト Feldt 大蔵大臣の答えはなんと歯切れの悪いもので、意地悪くすれば、将来、最低生活水準の方をひきさげるのではないかと思わされるようなものでした。なお、国民所得に関する政府諮問委員会の調査報告書は、予定通りにいけば今秋にまとめられるのだそうです。政府の対応はその報告書提出後、各方面の反応 remissyttrande をみてから決められるので、“貧困世帯”に救いの手がさしのべられるのは一番早くて2年後になることでしょう。

貧困世帯への援助として生活保護 Socialbidrag があるわけですが、生活保護をうけるための順番待ちが年とともに長くなっているそうです。イヨーテボリィ Göteborg だけに限っていえば、1985年12月に生活保護をうけた7700世帯のうち700世帯を抽出して調査した結果、生活保護をうける理由は以下のようになっています。「失業」32%、「低収入」19%、「臨時の収入低下」20%、「働くことができない(保育所の不足等)」7%、「問題がある(アルコール中毒等)」12%、「政治亡命者」12

%、「その他」9%。

運よく(?)生活保護をうけられても身ぐるみはがされる、というのが三番目のニュースで、失業中で生活保護をうけている30才の男性の奨学金返還猶予願いが認められず、近く差しおさえが強行されるというものです。またエーレブロー Örebro では奨学金返還反対運動が起こっているというニュースもあります。スウェーデンの奨学金は借りはじめる時には比較的ゆるい資格条件で、つまり高校生、大学生であればほとんど誰でも借りられるのですが、卒業してから2年後にはじまる返還は“物価スライド制”なので、返しても返してもインフレ分が上のせされ、一生払い続けなければならないのではないかとというような気にさせられるものです。私の連れあいの場合などは、返還の最初の1、2年は払いこんだ分がほとんどインフレの差額に消えてしまい、一年に一回送られてくる返還証明の数字をみるたびに苦笑いをしたものです。

スパール銀行 Sparbanksföreningen が算出した“標準家庭”の1年間の家計は次のようになっています。ボーナスはないので12当分すれば1ヵ月分の家計になります。ちなみに1985年は1クローナ約30円相当、1986年2月現在では1クローナ約25円に相当します。

	<1985>	<1986>
工員給料(夫・フルタイム)	102000 <small>クローナ</small>	108650 <small>クローナ</small>
補助看護婦(妻・フルタイム 看護婦の資格なし)	75800	81800
児童手当(4才と6才の二人)	9600	9600
収入合計	187400	200050
一税 金	- 61700	- 66150
純 収 入	125700	133900

4DK、110㎡家賃 (アパート又はマンション)	29300	30750
食費	33100	36500
服飾費	9400	11400
保育費(保育所・フルタイム)	13200	13750
その他必須生活費 (交通費、組合費、電気代、 TV、電話、新聞、保険、保健)	19250	21700
その他(残高) (車、余暇、貯金)	21450	19800

税金申告にいためつけられたためか、ついつい悲観的な調子になってしまいましたが、一つ一つを細かくみていけば、“最低生活水準”は日本で考える“四畳半一間の暮らし”よりよいものですし、生活保護受給者のうち12%も「政治亡命者」がいること、つまりそれほど政治亡命者をうけていること、ほとんど誰でも奨学金をうけられること、4DKの家賃が月に65,000円弱ですむことの方が評価されるべきなのかもしれません。

追記：Göteborgs-Posten紙1986年2月4日、17日、19日、20日の記事、または2月18日放映のAktuelltを参考にしました。

## ＜SIPニュース＞

### スウェーデンの社会民主党、ストックホルムで暗殺されたウーロフ・パルメの後継党首として、副首相のイングヴァル・カールソンを選出

2月28日の深夜、リズベス(Lisbet)夫人との映画鑑賞の帰路、ストックホルム中心街で暗殺されたウーロフ・パルメ(Olof Palme)首相の葬儀は、3月15日の土曜日にストックホルムの市公会堂でとり行なわれることとなった。遺族の希望に従って葬儀は国葬ではなく、社会民主党・家族葬となることが決定したが、スウェーデン政治家、官僚はもとより、多数の海外の政治家や国際機構の代表の参列が予想される。

パルメ首相(スウェーデン社民党党首)は事件当夜、夫人と共に自宅に向う途中、ストックホルムのオールド・タウンで暗殺された。氏は至近距離から背中を狙撃され、銃弾の一発が大動脈を貫通、出血多量のため死亡した。なお、首相はほとんど即死状態であったと思われる。同氏は、軽傷を負った夫人とともにサバッペリ病院にただちに運び込まれたが、3月1日、0時6分すぎ、死亡が確認された。なお犯人は近くの路地に逃げこんだ模様で、未だにその身元は判明していない。

3月3日、社民党理事会により、同党の新党首としてイングヴァル・カールソン(Ingvar Carlsson)氏が任命された。カールソン氏は現行のスウェーデン政府の副首相で、約30年に亘るパルメ氏の盟友の一人。国会議長及び野党党首との協議を経て、カールソン氏の首相就任は3月12日水曜日になるものと思われる。就任後すぐに組閣が行なわれる予定であるが、当面、現行内閣が暫定内閣として機能してゆくこととなろう。

事件当夜、パルメ氏には首相自身の要望から護衛がついていなかった。氏は、しばしば、自分にはプライベートな生活も必要でありスウェーデンの民主的伝統に従って、とりわけ彼が公務についていない時には、自由に行動できることが重要だと主張していた。

### 犯行は計画的

3月3日、月曜日の警察筋の発表によると、パルメ氏暗殺に使われた武器はマグナムタイプのリボルバー、現場からは先細りの38口径の銃弾2発が見ついているが、これらは、芯に鉛を使い、回りに銅をかぶせた特殊なものでスウェーデンの犯罪捜査史上でもめったに見られない金属貫通型である。このため、警察では首相暗殺が計画的であったと述べている。

故ウーロフ・パルメ首相は、1927年1月30日、保険会社の重役グンナル・パルメ(Gunnar Palme)と妻のエリーザベット(Elisabeth)―旧姓フォン・クニーリエム(Von Knieriem)との間に生まれた。1956年

に結婚したりスベス・ベック・フリース(Lisbet Beck-Friis)夫人との間にヨアキム(Joakim 28歳)、モッテン(Mårten 25歳)、マティアス(Mattias 18歳)の三人の息子がいる。

パルメ氏は、ストックホルム北部の寄宿学校シグチューナ・ヒューマニスティスカ・レーロベルク(the Sigtuna Humanistiska Läroverk)に学び、17歳で大学入学資格を取得している。1948年に米国オハイオ州のケニオン大学(Kenyon College)で文学の学位をとった後、1951年、ストックホルム大学で法律の学位をとった。1949年に社民党に入党し、1953年には、ターゲ・エランデル(Tage Erlander)元首相の個人秘書に任命されている。1957年にはじめて国会議員に選出され、6年後には彼にとって初の内閣ポスト——無任所大臣——を手中にしている。1969年に社民党党首に選出されて首相の座につくまでに、1965年からは通産相、1967年からは教育相も勤めた。

パルメ氏の対外政策及び国際事情への多大な関心や平和運動、軍縮並びに第三世界への深い関わり合いは、氏を長年に亘り、多くの重要な任務につかせてきた。彼はソシャリスト・インターナショナル(the Socialist International)の副総裁であると同時に、アフリカ南部に関する特別作業グループの委員長でもあった。彼はまた、国際開発問題に関する独立委員会(ブランド委員会 the Brandt commission)のメンバーで、軍縮と安全保障問題に関する独立委員会(パルメ委員会 the Palme commission)の委員長も勤めていた。なお、同委員会は1982年に「共通の安全保障」「Common Security」と題する報告書を国連の軍縮会議に提出した。さらに、1980年11月に、パルメ氏はイラン・イラク紛争の平和的解決の可能性を探るための国連事務総長の特別代理に任命された。

パルメ氏は成人後の人生の大半を常に国内外の政治の舞台の中心で過してきた。彼は15年に亘り、スウェーデン社民党の党首を勤めると共に、同党が非社会主義の三党に政権の座を明け渡した1976~1982を除き、我国の首相の要職にあった。

### イングヴァル・カールソン、社民党の新党首に

故パルメ首相と異なり、社民党の新党首となったイングヴァル・カールソン氏は労働者階級の出身である。1934年生まれ。高等学校を終えた後、ルンド大学(the University of Lund)に進み、1958年に政治学の修士号を取得している。彼が政治に積極的に関わり始めたのもこのルンド時代であり、彼は社民党学生連合の議長に選出された。彼の政治的洞察力は時の首相ターゲ・エランデルの目にとまるところとなり、カールソン氏は1985年に首相府の首相秘書に任命された。彼はまた、海外でそのアカデミックな研究を続ける機会を与えられ、1960~1961年にかけて、米国のシカゴで政治経済を学んだ。帰国後、社会民主青年同盟議長に選出され、1965年には国会議員に初当選した。

1967年、エランデルへの政治上の忠告が主な職務である首相府担当次官のあと、1969年にはエランデルが彼をウーロフ・パルメ氏の後任の教育文化相に任命、最も若い閣僚となった。1974年には、新設の住宅国土省の指導者となった。また、昨秋の国会議員選挙にひき続き、パルメ首相が現行内閣を組閣した時点で、カールソンは副首相兼スウェーデン初の環境相となった。因みに彼は1972年以来、社民党中央執行委員を勤める。また、1981年に同党の経済プログラム「スウェーデンの未来」「A Future for Sweden」を提出した研究グループの議長でもあった。

カールソン氏はパルメ氏の確実な後継者といわれ、故人に最も近い政治上の盟友であった。彼は長きに亘り、党内派閥の統合にとくに熟達した説得力に富んだ先見の明のある政治家という評価を受けてきた。3月3日の新党首任命に際して、カールソン氏は党内の継続的安定性を確保すべく最善をつくす決意を明らかにすると共に、スウェーデンの対外政策に関する質問に答えて、我国は重要な国際的な役割を担っており、現行路線の踏襲が社民党及び政府の抱負であると述べた。

### ご来聴歓迎

### 福祉国家の今後についてのシンポジウム

5月12日(月)午後3時より5時まで、霞ヶ関ビル33階東海大学校友会館で、ストックホルム大学ロバート・エリクソン教授の「福祉国家の教訓と展望」と題する公開講演会を開催します。